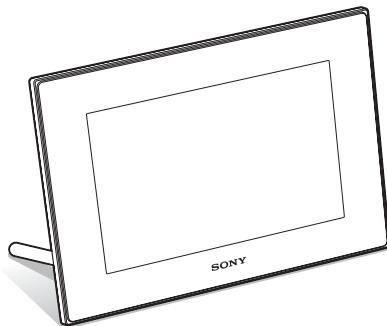


デジタルフォト フレーム

DPF-XR100/XR80/VR100



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

対象のデジタルフォトフレームはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。



安全のために

準備する

画像を見よう

いろいろな機能を
使ってみよう

困ったときは

その他

警告・注意



警告

安全のために

→42～45ページもあわせて
お読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、誤った使いかたをすると、火災や
感電などにより人身事故になることがあります。危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

42～45ページの注意事項をよくお読みください。



定期的に点検する

1年に1度は、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっているのか、故障したまま使用していないのか、などを点検してください。



故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。



万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

お使いになる前に必ずお読みください

再生時に際してのご注意

AC アダプターはお手近なコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

著作権について

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機において写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません

万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

目次

お使いになる前に必ずお読みください 3

安全のために

同梱品を確認する	6
各部の名前	7
■ デジタルフォトフレーム	7
■ リモコン	8

準備する

リモコン	9
スタンド	9
壁にかけて使用する	10
電源を入れる	11
初期画面	11
時刻を設定する	12

画像を見よう

メモリーカードを入れる	13
画面表示を切り換える	14
画面に表示される情報	15
動画を再生する	16
スライドショーを音楽といっしょに再生する	17
音楽を取り込む	17
再生する音楽を選択する	18
スライドショーで音楽を再生する	18

いろいろな機能を使ってみよう

いろいろな機能	19
画像を絞り込む	20
再生デバイスを選択する	21

画像のサイズと向きを調整する（拡大 / 縮小、回転）	21
拡大 / 縮小	21
回転	22
自動電源 ON/OFF の設定変更	22
アラーム機能を使う	24
設定を変更する	24
メンテナンスマード	25
メンテナンスマードを起動する	25
システムを初期化する	26
ハイビジョンテレビに接続する（DPF-XR100/XR80 のみ）	27
外部機器を接続して操作する	28
コンピューターに接続する	29

困ったときは

エラーメッセージ	31
故障かな？と思ったら	32

その他

使用上のご注意	35
設置上のご注意	35
お手入れ	35
複製の禁止事項	35
本機を廃棄するときのご注意	35
主な仕様	36
商標について	38
保証書とアフターサービス	41
保証書	41
アフターサービス	41
警告・注意	42

本書のイラスト、画面表示について

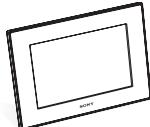
特に説明が必要な所を除き、DPF-XR100 を使用しています。

また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

同梱品を確認する

梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

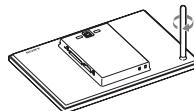
デジタルフォトフレーム (1)



スタンド (1)



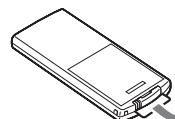
ネジ穴に取り付ける。(9 ページ)



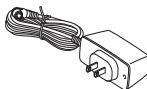
リモコン (1)



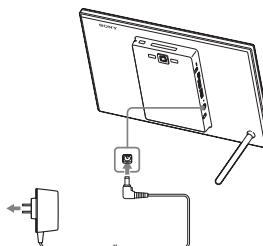
保護シートを抜く。(9 ページ)



AC アダプター (1)



電源をつなぐ。(11 ページ)



壁掛けユニット (1)

ネジ (4)

デジタルフォトフレームハンドブック *1 (1)

取扱説明書 (本書) (1 部)

CD-ROM (デジタルフォトフレームハンド

ブック) (1)

保証書 (1 部)

製品登録のおすすめ (1) *2

本機の詳しい操作、設定方法については、別冊のデジタルフォトフレームハンドブック *1 をご覧ください。

オーバーシーズモデル、ワールドワイドモデルについて

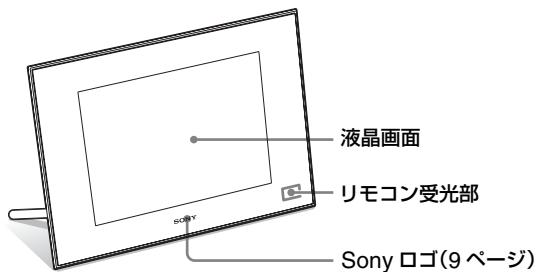
*1: 同梱の CD-ROM 内「デジタルフォトフレームハンドブック」をご覧ください。

*2: 同梱されていません。

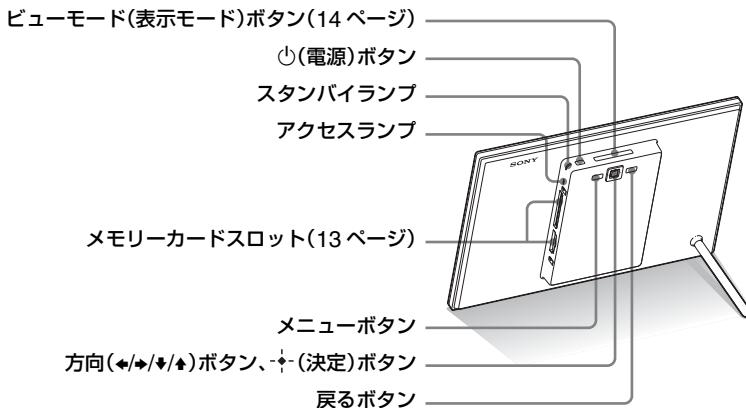
各部の名前

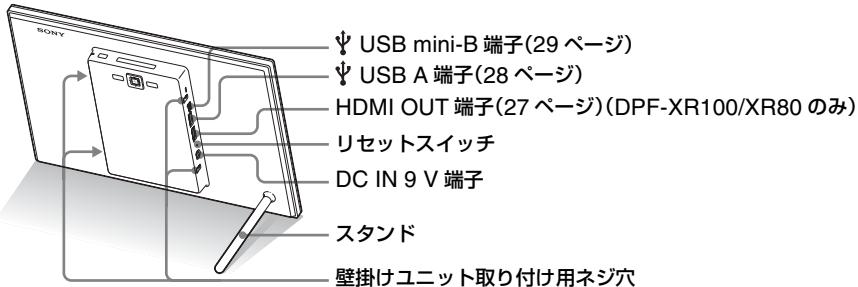
■ デジタルフォトフレーム

本体前面

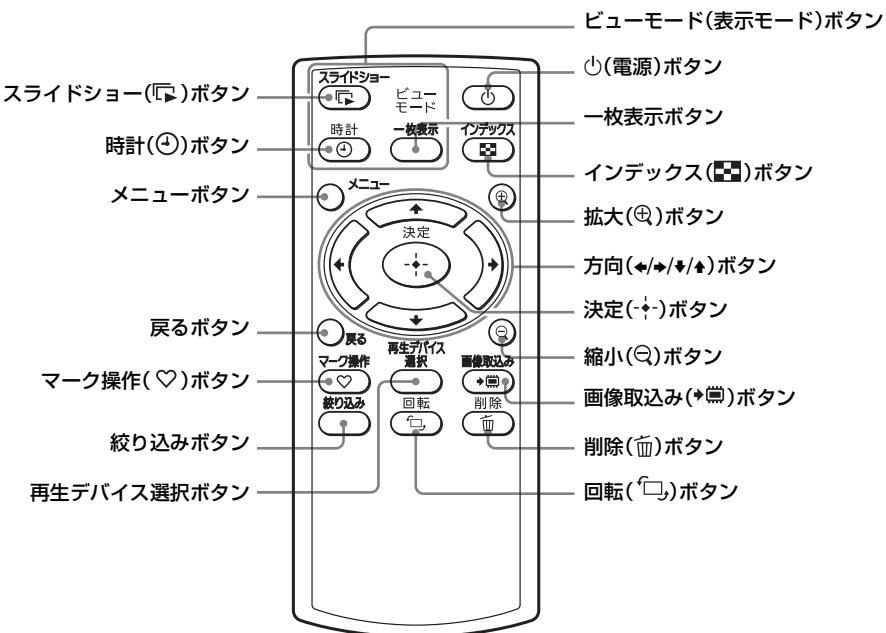


本体背面





■ リモコン

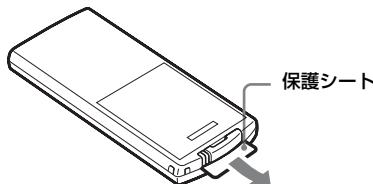


本書での説明について

取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明しています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は、「ちょっと一言」で説明をしています。

リモコン

図のように保護シートを引き抜く。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ちょっと一言

リモコンが動作しなくなったら

新しい電池(CR2025 リチウム電池)に交換してください。

交換方法:

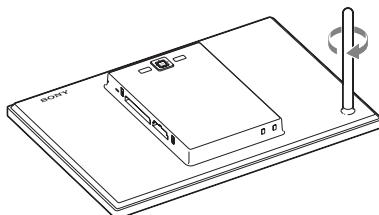
ハンドブック(別冊)「リモコンを準備する」をご覧ください

■ ご注意

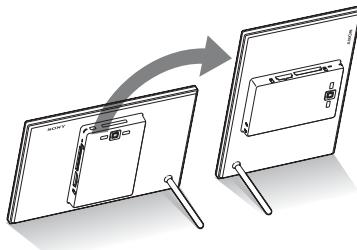
指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。

スタンド

スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。



本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



ちょっと一言

■ 縦置きの場合

操作ボタンが左にくるようにすると、表示も自動的に縦に表示されます。

■ Sony ロゴ

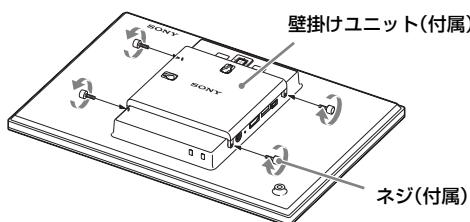
縦置き、電源 OFF 時には点灯しません。

■ ご注意

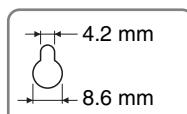
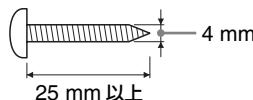
- ・壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- ・メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所でおこなってください。
- ・本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- ・DCコードを本機に接続してから壁にかけ、その後にACアダプターをコンセントにつないでください。
- ・取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・取り付けネジが緩んで本体が落下しないようにしっかりとネジを締めてください。
- ・壁掛けユニットやネジを踏んでけがなどしないようにご注意ください。

壁にかけて使用する

- 1 本機の背面に、付属の壁掛けユニットを付属のネジ4本で取り付ける。



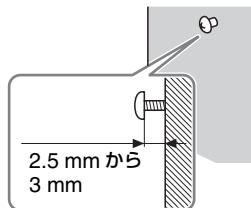
- 2 本機背面のネジ穴に合う市販のネジを用意する。



本機背面のネジ穴

- 3 壁に市販のネジをとめる。

ネジが壁から2.5 mmから3 mm、突き出した状態で壁に固定します。



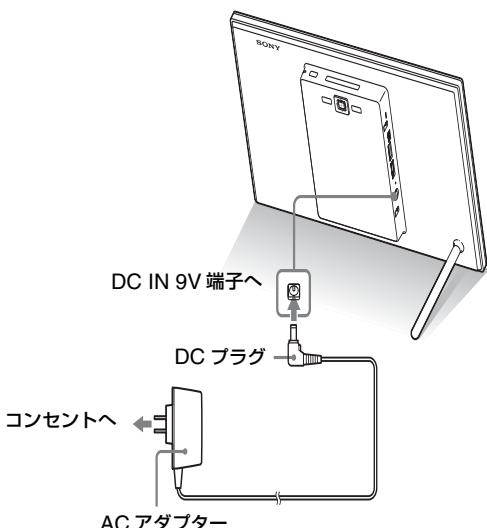
- 4 本機背面のネジ穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。

電源を入れる

1 AC アダプターのプラグを本機背面のDC IN 9V端子につなぐ。

2 AC アダプターをコンセントに差込む。

自動的に電源が入ります。

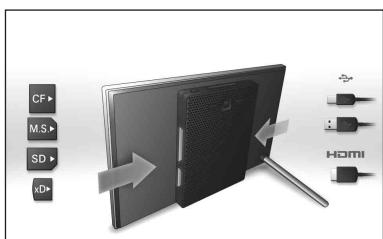


■ ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- AC アダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機のDC IN 9V端子から抜き、AC アダプターをコンセントから取りはずしてください。
- スタンバイランプが赤に変わる前に、電源を切ったり、AC アダプターをコンセントやDC IN 9V端子から抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 付属のACアダプターは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

初期画面

電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



✿ ちょっと一言

■ 何も操作しないと

一定時間操作が行われないと、デモモードが表示されます。

■ デモモードの解除方法

電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

時刻を設定する

- 1 メニュー \Rightarrow $\leftrightarrow/\downarrow$ ボタンで  (設定) タブを選ぶ。
 \downarrow/\uparrow ボタンで [時計設定] \Rightarrow \downarrow/\downarrow (決定)



- 2 \downarrow/\uparrow ボタンで [時刻] \Rightarrow \downarrow/\downarrow (決定)
 \downarrow/\uparrow ボタンで数値 \Rightarrow $\leftrightarrow/\downarrow$ (時、分、秒) 設定完了
 \Rightarrow \downarrow/\downarrow (決定)
- 3 メニューボタンを押す。

同じ画面で以下の設定ができます。

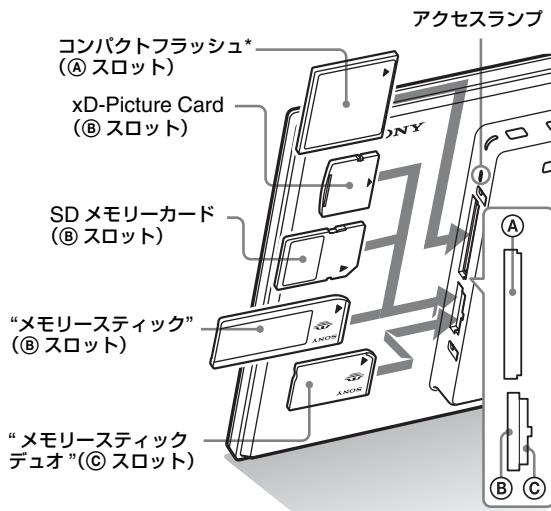
設定方法は、上記の時刻設定と同じです。

設定項目

- 世界時計
- 日付
- 日付表示順 (年 - 月 - 日 / 月 - 日 - 年 / 日 - 月 - 年)
- 開始曜日 (日曜日 / 月曜日)
- 12 時間・24 時間表示

メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。



メモリーカードを挿入すると

カード内の画像が自動的に表示されます。

画像表示中に電源を切った場合は

再度電源を入れると画像は続きから再生されます。

アクセスランプが点滅しない場合は

挿入方向を確認し、再度差し込んでください。

B、C スロットについて

同時に挿入すると、正常に動作しません。

ご注意

以下のメモリーカードをお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。
そのままスロットに挿入すると、取り出せなくなります。下図の右端のイラストのように、それぞれアダプターに装着した状態で、スロットに挿入してください。

① miniSD/miniSDHC

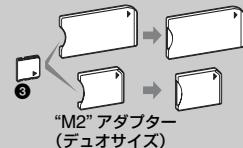


② microSD/microSDHC



③ “メモリースティック マイクロ”

“M2”アダプター
(スタンダードサイズ)



“M2”アダプター
(デュオサイズ)

* コンパクトフラッシュは、DPF-XR100/XR80 のみでご使用になれます。

ちょっと一言

縦位置で撮影した回転情報を
Exif 情報に記録できないデジタル
スチルカメラで撮影した画像は、自動回転表示ができません。

画面表示を切り換える

1 お好みのビューモードボタンを押す。



押したボタンのビューモード画面が表示されます。

2 \leftrightarrow ボタンでお好みのスタイルを選び、-♦-ボタンを押す。

選択したスタイルの画面が表示されます。

ビューモードの種類

表示	スタイル
	シングル表示、マルチ表示、時計表示／世界時計表示、カレンダー表示、タイムマシン、スクラップブック／クリエイティブ、ランダム表示
	時計 1～9 カレンダー 1～2 世界時計 1～3 陰暦カレンダー、アラビアカレンダー、ペルシアカレンダー
	画像全体、画面いっぱい、画像全体（情報表示あり）、画面いっぱい（情報表示あり）

■ ご注意

一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動的に決定されます。

◎ ちょっと一言

各スタイルの説明:

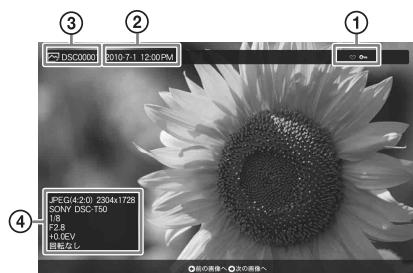
ハンドブック(別冊)「画面表示を切り換える」をご覧ください。

■ ご注意

カレンダーについて

陰暦カレンダー、アラビアカレンダー、ペルシアカレンダーは、その言語表示にした場合のみ表示されます。

画面に表示される情報



次の情報を表示します。

① 設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 (E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。)
	マークを付けた場合に表示されます。
	動画アイコン
	音声メモアイコン
	パノラマ画像アイコン

② 撮影年月日・撮影時間

■ ご注意

動画ファイルの場合は表示されません。

③ 画像番号(フォルダー／ファイル番号)

DCF 準拠の画像の場合、表示されます。

非 DCF の画像の場合、ファイル名の先頭 10 文字が表示されます。

④ 画像詳細表示

・ 写真の場合

- ファイル形式 (JPEG (4:4:4)、JPEG (4:2:2)、JPEG (4:2:0)、BMP、TIFF、RAW)
- 画素数 (画像の幅×画像の高さ)
- 画像入力機器のメーカー名
- 画像入力機器のモデル名
- 露出時間 (例: 1/8)
- 絞り値 (例: F2.8)
- 露出補正値 (例: + 0.0EV)
- 回転情報

・ 動画の場合

- ファイル形式 (AVI、MOV、MP4、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS)
- ファイルサイズ
- 再生時間
- 画像サイズ (動画の幅×動画の高さ)
- ビデオコーデック / ビットレート
- 音声コーデック / ビットレート

動画を再生する

■ ご注意

- ・次のような動画ファイルは再生できません。
 - 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル
(上記以外の動画ファイルの動作を保証するものではありません。)
- ・スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。
- ・撮影時に複数のファイルに分割された動画の連続再生はできません。

✿ ちょっと一言

スタート画面や一枚表示画面でも音量の調整できます。

1 画像ファイルを選ぶ。

- ① **一枚表示** ボタンを押す。
- ② **↔/↔** ボタンでお好みのスタイルを選び **-/-** ボタンを押す。
- ③ **↔/↔** ボタンで画像を送り、再生したい動画を選択する。

インデックス表示で選ぶ

- ① **▢** (インデックス) ボタンを押す。
- ② **↔/↔/↑/↑** ボタンで再生したい動画を選択する。

2 決定ボタンを押す。

動画の再生が始まります。

音量を調整する

- ↓/↑** ボタンを押すと、画面右側に音量調整画面が表示されます。
大きくしたい場合は **↑** ボタンを、小さくしたい場合は **↓** ボタンを押してください。

再生を一時停止する

- 動画を再生中に **-/-** ボタンを押してください。
再開するときは、もう一度 **-/-** ボタンを押してください。

早送り／早戻しする

- 動画を再生中に **↔/↔** ボタンを押してください。早送り／早戻し中に **-/-** ボタンを押すと、そこから再生が始まります。
ただし、動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものがあります。

再生を停止する

- 動画を再生中に戻るボタンを押してください。

スライドショーを音楽と いっしょに再生する

音楽を取り込む

音楽ファイルを取り込む前に、必ず本機で再生可能な音楽ファイルかどうかを確認してください。取り込みや再生可能な音楽ファイルに関しては、「主な仕様」の「バックグラウンド音楽」(37 ページ) をご覧ください。

- 1 音楽ファイルの入ったメモリーカードを挿入する。
- 2 メニューボタンを押し、 \leftrightarrow ボタンで [スライド
ショー設定] タブを選ぶ。
- 3 \downarrow/\uparrow ボタンで [BGM 取り込み] を選び、 $-/-$ ボタンを
押す。
- 4 \downarrow/\uparrow ボタンで、手順 1 で挿入したメモリーカードを選
択する。
- 5 音楽ファイル一覧から、 \downarrow/\uparrow ボタンで取り込みたい音
楽ファイルを選び、 $-/-$ ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「」が付きます。
- 6 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順 5 を繰
り返す。
- 7 音楽ファイルの選択が終わったら、メニューボタン
を押す。
- 8 確認画面が表示されたら $-/-$ ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルが内蔵メモリーに取り込まれます。

ちょっと一言

- 選択したファイルを解除するときは、解除したい音楽ファイルを選択して決定ボタンを押してください。チェックマーク「」が消えます。
- 内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを削除するには、手順 2 の [スライドショー設定] 画面で [BGM 削除] を選び [決定] を押します。
表示された音楽ファイル一覧から、 \downarrow/\uparrow ボタンで削除したい音
楽ファイルを選び $-/-$ を押すと、選んだ音楽ファイルに
チェックマーク「」が付きます。
メニューボタンを押して確認画面が表示されたあと、決定
ボタンを押すと選んだ音楽ファイルが削除されます。

■ ご注意

- 取り込んだ音楽ファイルは、ス
ライドショーの BGM としての
み再生可能です。
- 再生できるのは内蔵メモリーに
取り込んだ音楽ファイルのみで
す。
- 内蔵メモリーに取り込める音楽
ファイルは、最大で 40 曲です。
- 音楽ファイルのみ入ったメモ
リーカードを挿入した場合、「画
像がありません。」というエラ
ーメッセージが表示されますが、
カードを入れ換えず、そのまま
決定ボタンを押し、手順 2 へ進
んでください。

再生する音楽を選択する

- 1 メニューボタンを押し、 \leftrightarrow ボタンで【スライドショー設定】タブを選ぶ。
- 2 \downarrow/\uparrow ボタンで【BGM選択】を選び、 \leftarrow ボタンを押す。
- 3 取り込んだ音楽ファイルの一覧から、 \downarrow/\uparrow ボタンで再生したい音楽ファイルを選び、決定ボタンを押す。
選んだ音楽ファイルにチェックマーク「」が付きます。
- 4 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順3を繰り返す。
- 5 メニューボタンを押す。
ビューモードでスライドショーを選択すると、チェックマーク「」をつけた音楽が再生されます。

スライドショーで音楽を再生する

■ ご注意

著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

- 1 メニューボタンを押し、 \leftrightarrow で【スライドショー設定】タブを選ぶ。
- 2 \downarrow/\uparrow ボタンで【音設定】を選び、 \leftarrow ボタンを押す。
- 3 \downarrow/\uparrow ボタンで「写真再生時」または「動画再生時」を選び、 \leftarrow ボタンを押す。
- 4 BGMの設定をする。

写真再生時

「BGM ON」：写真のスライドショー中にBGMが再生されます。

「BGM OFF」：写真のスライドショー中にBGMは流れません。

動画再生時

「動画音」：動画のスライドショー中に動画の音声が再生されます。

「BGM」：動画のスライドショー中にBGMが再生されます。

「OFF」：動画のスライドショー中に音は流れません。

いろいろな機能

- ・画像を取り込む（メモリーカードから内蔵メモリーへ）
- ・画像を書き出す（内蔵メモリーからメモリーカードへ）
- ・画像を削除する
- ・画像にマークをつける

- 1 画像を表示した状態で、メニューボタンを押し、 \leftarrow/\uparrow で \square （画像操作）を選ぶ。
- 2 \downarrow/\uparrow ボタンで操作したい項目（内蔵メモリーに取り込み／書き出し／削除／マーク操作）を選び、-◆-ボタンを押す。
 $\square\square$ ：選択した操作によって、「（を）取り込む／（を）書き出す／（を）削除／に付ける・マーク操作・からはすす（マーク操作）」のいずれかが表示されます。
 - ・[この画像を $\square\square$]：
 \downarrow/\uparrow ボタンで保存先を選び、選び、-◆-ボタンを押してください。
 - ・[画像を選択して $\square\square$]：
画像一覧から、 $\leftarrow/\uparrow/\downarrow/\uparrow$ ボタンで画像を選び、-◆-ボタンで「 \checkmark 」をつけます。
複数の画像を選択したい場合はこの動作を繰り返します。



ちょっと一言

■ 取り込み

内蔵メモリー保存枚数

・リサイズ：約 4000 枚

・原画サイズ：画像サイズによって異なります。

■ 書き出し

認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。

■ ご注意

■ 取り込み

動画ファイルは、本体操作で内蔵メモリーに取り込みができません。動画を内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの動画を本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターに接続する」(29 ページ)をご覧ください。

■ 書き出し中／削除中

本機、メモリーカード、データを破損する場合がありますので、以下のことをしないでください。

- ・電源を切る
- ・メモリーカードを抜く
- ・他のメモリーカードを挿入する

■ 削除

削除を開始すると途中で中止しても削除した画面を取り戻すことはできません。

■ マーク操作

- ・内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
- ・メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり、再生デバイスの切り換えをすると解除されます。

選択を解除するには

解除したい画像を選択し-♦-ボタンを押すと「✓」が消えます。

画像確定後、メニューボタンを押してから、保存先を選んでください。

[全ての画像□□] :

全ての画像に「✓」がついた状態で表示されます。メニューボタンを押してから、保存先を選んでください。

- 4 確認画面が表示されたら、-♦-ボタンを押す。

✿ ちょっと一言

本体から操作する場合、メニュー ボタンを押し、➡/⬅ ボタンで

□ (画像操作)を選択してから、➡/⬅ ボタンで[絞り込み表示]を選択し、-♦-ボタンを押してください。

■ ご注意

- ・時計・カレンダー表示中は、□ (画像操作)タブを選択することはできません。
- ・動画ファイルの撮影日時は取得できないため「イベントで絞り込む」を選択時、動画は選択されません。「撮影日なし」に絞り込まれます。

■ ご注意

■ 絞り込み中

本機、メモリーカード、データを破損する場合がありますので、以下のことをしないでください。

- ・電源を切る
- ・メモリーカードを抜く
- ・他のメモリーカードを挿入する

■ 絞り込みが自動的に解除される条件

- ・再生デバイスを変更したとき
- ・メモリーカードの画像を検索し、そのメモリーカードを抜いたとき

画像を絞り込む

- 1 画像を表示した状態で絞り込みボタンを押す。

- 2 ➡/⬅ ボタンで絞り込み条件を選び、-♦-ボタンを押す。



- ・**イベントで絞り込む**：イベントから画像を絞り込みます。
- ・**フォルダーで絞り込む**：フォルダーから画像を絞り込みます。
- ・**縦写真／横写真で絞り込む**：画像の向きから画像を絞り込みます。
- ・**マークで絞り込む**：マークの種類から画像を絞り込みます。
- ・**動画／写真で絞り込む**：動画と写真で絞り込みます。

- 3 ➡/⬅ ボタンで項目を選び、-♦-ボタンを押す。

- 4 手順 3 を繰り返し、項目を選び終わったらメニュー ボタンを押す。

絞り込みを解除する

絞り込んだ画像を表示中にメニュー ボタンを押し、[絞り込み表示を解除] を選び、-◆- ボタンを押します。

絞り込みの条件を変更する

検索した画像を表示中に戻るボタンを押して、[選び直し] を選択します。

再生デバイスを選択する

再生デバイス選択ボタンを押す。

↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスを選び、-◆- ボタンを押す。



画像のサイズと向きを調整する (拡大 / 縮小、回転)

拡大 / 縮小

⊕(拡大) ボタン、⊖(縮小) ボタンを押す。

⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

トリミング保存について

・拡大した画像を ↪/↗/↖/↑ ボタンで動かした状態でメニュー ボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。

・↓/↑ ボタンで保存方法を選びます。

保存の種類：新規保存、上書き保存 *

* JPEG ファイル(拡張子: jpg、または jpeg) 以外は、上書き保存ができません。

ちょっと一言

再生デバイスとは？

メモリーカードや内蔵メモリーのことです。

■ ご注意

時計・カレンダー表示中は、

□(再生デバイス選択)タブは選択できません。

いろいろな機能を使ってみよう

■ ご注意

・拡大した場合、画像サイズによっては画質が低下することがあります。

・本体のボタンからは拡大・縮小はできません。

■ ご注意

拡大した画像は回転できません。

※ ちょっと一言

内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。

※ ちょっと一言

■ 使用中

自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。

■ スタンバイ中

自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

回転

回転 (□) ボタンを押す。

または、以下の操作を行います。

1 一枚画面表示中にメニュー ボタンを押し、

↔/ボタンで (画像操作) タブを選び、

↓/↑ボタンで [回転] を選び、-◆- ボタンを押す。

2 ↓/↑ボタンで、回転方向を選び、-◆- ボタンを押す。

・ □ : 時計回りに 90 度回転します。

・ □ : 反時計回りに 90 度回転します。

自動電源 ON/OFF の設定変更

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 メニュー ボタン ⇒ ↔/ボタンで (設定) タブを選び。

2 ↓/↑ボタン [自動電源 ON/OFF 設定] ⇒ -◆- ボタン

3 ↓/↑ボタンで [設定方法] を選び -◆- ボタンを押し、

↓/↑ボタン [詳細設定]、[シンプル設定] または

[オートオフ設定] ⇒ -◆- ボタン

[詳細設定]



① ↓ ボタン [時間設定] ⇒ -◆- ボタン

② ↔/↔/↑ ボタンで設定／削除したい曜日、時間帯 * に移動し、-◆- ボタンを押し、時間帯の色を変える。

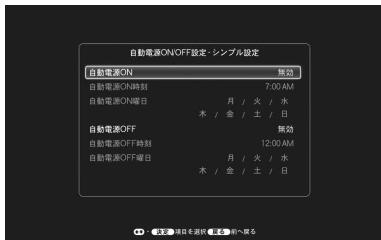
* 時間帯は、1 時間単位で設定することができます。

青色の時間帯 : 電源 ON の状態

灰色の時間帯 : 電源 OFF の状態

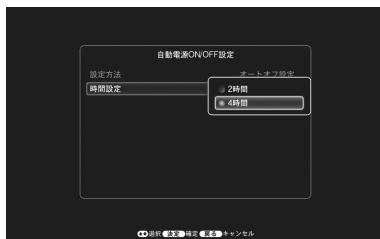
- ③ $\blacktriangleleft/\triangleright/\downarrow/\uparrow$ ボタンで [確定] を選ぶ。

[シンプル設定]



- ① \downarrow ボタン [時間設定] \Rightarrow $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタン
- ② \downarrow/\uparrow ボタン [自動電源 ON] / [自動電源 OFF] \Rightarrow $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタン
- ③ \downarrow/\uparrow ボタン [有効] \Rightarrow $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタン
- ④ [自動電源 ON 時刻] / [自動電源 OFF 時刻] 設定
 \downarrow/\uparrow ボタン: 数値設定
 時計設定を [12 時間] にしている場合、AM か PM が表示されます。
- ⑤ [自動電源 ON 曜日] / [自動電源 OFF 曜日] 設定
 \downarrow/\uparrow ボタン: 機能を使いたい曜日にチェックを入れる。
 カーソルを [確定] へ移動し、 $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタンを押す。

[オートオフ設定]



- ① \downarrow ボタン [時間設定] \Rightarrow $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタン
- ② \downarrow/\uparrow ボタン [2 時間] または [4 時間] \Rightarrow $\blacktriangleleft/\triangleright$ ボタン

アラーム機能を使う

■ ご注意

- HDMI ケーブルでテレビと接続している場合、アラーム音はテレビから出力されます。
(DPF-XR100/XR80 のみ)
- 取り込んだ音楽ファイルをアラーム音として設定している場合でも、コンピューターと接続している状態では、本機内蔵の「アラーム音」でお知らせします。

本機を目覚まし時計としてお使いいただくことができます。設定した曜日の時刻になると、アラーム音とアラーム画面でお知らせします。

1 アラームを設定する。

- ① ↓/↑ ボタン [ON/OFF] ⇒ -◆- ボタン
- ② ↓/↑ ボタン [ON] ⇒ -◆- ボタン

2 時刻を設定する。

- ① ↓/↑ ボタン [時刻] ⇒ -◆- ボタン
- ② ↓/↑ ボタン：数値設定 ⇒ -◆- ボタン

3 曜日を設定する。

- ① ↓/↑ ボタン [曜日] ⇒ -◆- ボタン
 - ② ↓/↑ ボタン：曜日設定 ⇒ -◆- ボタン
- 曜日は複数日設定できます。

4 アラーム音を設定する。

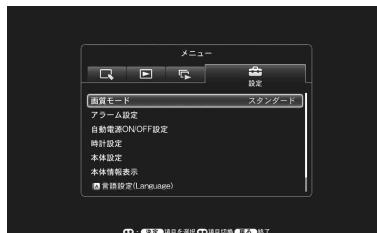
- ① ↓/↑ ボタン [アラーム音選択] ⇒ -◆- ボタン
- ② ↓/↑ ボタン：音楽ファイル選択 ⇒ -◆- ボタン

5 アラーム音量を設定する。

- ① ↓/↑ ボタン [アラーム音量] ⇒ -◆- ボタン
- ② ↓/↑ ボタン：音量 (1 ~ 7) 設定 ⇒ -◆- ボタン

設定を変更する

メニュー ボタン ⇒ ←/→ ボタンで ■ (設定) タブを選ぶ。
↓/↑ ボタンで設定項目・設定値を選び、-◆- ボタンを押す。



設定項目

- ・画質モード
- ・アラーム設定
- ・自動電源ON/OFF設定
- ・時計設定
- ・本体設定(画像表示順、Sony ロゴ点灯など)
- ・言語設定
- ・工場出荷状態に戻す

メンテナンスモード

メンテナンスモードを起動する

- 1 本体の電源が切れていることを確認する。
- 2 本体のビューモードボタンを押しながら、↓ボタンを押して電源を入れる。

ビューモードボタンは、次の画面が表示されるまで押し続けてください。



メンテナンスモードが起動します。

- 3 ↓/↑ボタンで [ファームウェアの更新] または [システムの初期化] を選び、-♦-ボタンを押す。

ファームウェアの更新:

アップデートファイルの入手方法や、更新方法など詳しい情報は下記をご覧ください。

<http://www.sony.co.jp/DPF>

ちょっと一言

ファームウェアの更新やシステムの初期化は、次のような場合にお選びください。

ファームウェアの更新:
本機のファームウェアを更新することにより、最適なパフォーマンスが得られ、また機能向上した製品をご使用になれます。

システムの初期化:
本機が正常に起動しない場合は、システムの初期化を行ってください。システムの初期化を行っても正常に起動しない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

ちょっと一言

- システム初期化後の最初の起動には1分程度かかる場合があります。
- この処理で内蔵メモリー内の写真や音楽データが消えることはありませんが、その他のメニュー設定やマーク情報は消去されます。

システムの初期化:

システム初期化の操作画面が表示されます。
次の「システムを初期化する」へお進みください。

システムを初期化する

- システム初期化の操作画面が表示されたら、 \leftarrow/\rightarrow ボタンで【はい】を選び \downarrow ボタンを押す。



- 液晶画面に完了のメッセージが表示されたら、本体の \downarrow ボタンを押して電源を切る。



- 本体背面のリセットスイッチを細い棒などで押す。
本機の起動が始まります。

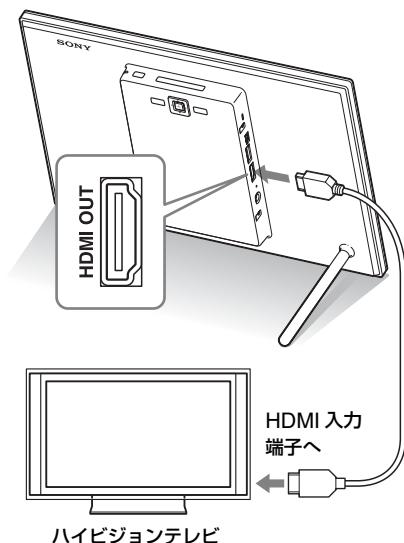
ハイビジョンテレビに接続する(DPF-XR100/XR80のみ)

本機は HDMI 出力が可能です。HDMI 入力があるテレビに接続すると、テレビでより高精細な画像を表示することができます。

「BRAVIA プレミアムフォト」について

本機は、「BRAVIA プレミアムフォト」に対応しています。「BRAVIA プレミアムフォト」とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「BRAVIA プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機を、HDMI ケーブル(別売)で接続すると、写真を今までなかつた感動の Full HD 画質で楽しめます。

- 1 AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。
- 2 本機の HDMI OUT 端子(AType コネクター)と、テレビの HDMI 入力端子を接続する。



■ ご注意

- ・元の画像によっては、高精細表示されない場合があります。
- ・HDMI ケーブルは 3m 未満で、HDMI ロゴを取得したもののをお使いください。
- ・変換ケーブル、変換コネクターを用いた HDMI 以外のテレビ入力への接続は保証しておりません。
- ・すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- ・テレビに接続中は、本機の液晶画面の表示は消えます。
- ・HDMI ケーブルでテレビと接続している場合は、音声や操作音、アラーム音がテレビから出力され、本体からは出力されません。音量の調節は、ご使用のテレビの音量調節機能をご利用ください。
- ・HDMI 機器制御に対応したテレビと本機を接続すると、入力切り替えが自動で切り替わり、テレビ付属のリモコンで本機の操作をすることが可能ですが。設定方法や入力切換の操作方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機の電源を入れる。
- 4 テレビの入力を切り換える。

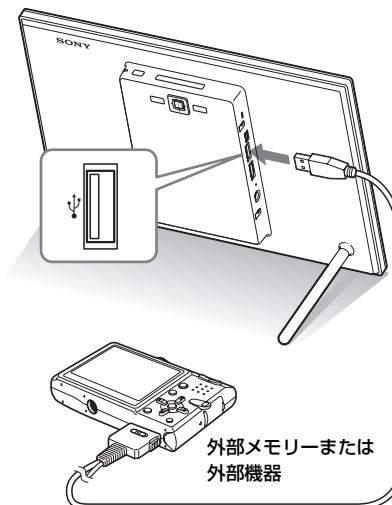
外部機器を接続して操作する

■ ご注意

- ・すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- ・内蔵メモリーの再生中、USB A 端子に外部機器を接続すると、表示するデバイスは外部機器に切り換わります。
- ・市販の USB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の A-TYPE の USB ケーブルをお使いください。
- ・USBケーブルは、USBロゴの付いたものをご使用ください。
- ・外部機器のアクセスランプが点滅中に、USB ケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切ったりしないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任を負いかねます。
- ・USBハブや、USBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。
- ・指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮されたUSB機器のデータは、本機ではご使用になれません。

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続し、メモリーカード同様いろいろな機能をお楽しみいただけます。

- 1 AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。
- 2 デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。
(Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を [標準] または、[MassStorage] に設定します。)
- 3 本機の電源を入れる。
- 4 デジタルカメラや外部機器に付属されている USB ケーブルを使って、本機の USB A 端子に接続する。



- 5 再生デバイス選択で外部機器を選ぶ。

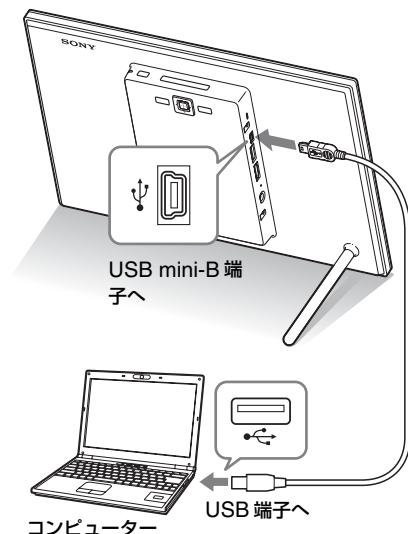
コンピューターに接続する

- 1 AC アダプターのプラグを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差し込む。
- 2 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。
- 3 本機の電源を入れる。
- 4 コンピューターから操作して、本機の内蔵メモリーと画像のやりとりを行う。

コンピューターの画像を本機にコピーするには

例：Microsoft Windows Vista の場合

- ① コンピューターの画面に「[自動再生]」画面が表示されたら、[フォルダを開いてファイルを表示] をクリックする。
- ② カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、新規フォルダーを作成する。
- ③ 作成したフォルダーを開く。
- ④ コピーしたい画像を作成したフォルダー内にコピーする。



■ ご注意

- USB ケーブル * は、mini B-TYPE をお使いください。
* 市販のUSB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の mini B-TYPE (フレーム側コネクタタイプ) をお使いください。
- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- USB ケーブルは、USB ポートの付いたものをご使用ください。
- USB A 端子に USB メモリーまたは外部機器を接続しているときに、同時に USB mini-B 端子とコンピューターを接続しないでください。

✿ ちょっと一言

お使いのコンピューターの OS により、画面表示や操作方法が異なることがあります。

必要なシステム構成

■ Windows

推奨 OS: Microsoft Windows 7/Windows Vista SP2/
Windows XP SP3

ポート: USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS: Mac OS X (v10.4 以降)

ポート: USB ポート

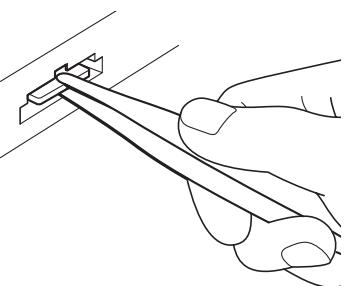
エラーメッセージ

エラーメッセージ	意味／処理
プロジェクトファイルは削除できません。	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロジェクト設定を解除してください。
プロジェクトされています。プロジェクトを解除して、もう1度実行してください。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。(ハンドブック「メモリーカードについて」)
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／SDメモリーカード／xD-Picture Card／内蔵メモリー／外部機器にエラーがあります。	<ul style="list-style-type: none"> 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。 <ul style="list-style-type: none"> 外部機器の場合 外部機器が書き込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書き込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書き込み禁止の場合があります。 内蔵メモリーの場合 内蔵メモリーの初期化を行ってください。 <p>■ ご注意 初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。</p>
サポートしていないフォーマットです。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどでフォーマットを行ってからご使用ください。 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。 <p>■ ご注意 初期化すると中のファイルはすべて削除されます。</p>

故障かな？と思ったら

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none">インデックス表示で画像が表示されていますか？下のマークが表示されていますか？  	<ul style="list-style-type: none">→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、1枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。→ 左のマークが表示されている場合は、サムネイル用の画像データがないか、一画面表示できない画像ファイルです。→ DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
一部の画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none">内蔵メモリー／メモリーカード内の画像枚数が9,999枚を超えていませんか？コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか？	<ul style="list-style-type: none">→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で9,999枚です。→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。→ 8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
画面に動画が再生されない。	<ul style="list-style-type: none">インデックス表示、一枚表示で下のマークが表示されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none">→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応していない動画ファイルです。本機で再生できない動画ファイルに関しては、「動画を再生する」(16ページ)をご覧ください。
早送り／早戻しができない。	—	<ul style="list-style-type: none">→ 動画ファイルによっては、本機で早送り／早戻しができないものがあります。
保存できない。	<ul style="list-style-type: none">フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	<ul style="list-style-type: none">→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大512枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。

症状	チェック項目	対処方法
音楽ファイルが取り込めない。	<ul style="list-style-type: none"> 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入しましたか？ 「画像がありません。」というエラーメッセージがでましたか？ 	<p>→ 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入した場合、「画像がありません。」というエラーメッセージが表示されます。カードを入れ換えず、そのまま-♦-ボタンを押してください。その後の操作は、「音楽を取り込む」(17 ページ)をご覧ください。</p>
削除できない。	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードが書き込み禁止、または誤消去防止スイッチが [LOCK] になっていませんか？ 	<p>→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。</p> <p>→ 誤消去防止スイッチを解除してください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> プロテクトされた画像ではありませんか？ 	<p>→ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。(15 ページ)</p> <p>→ マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。</p>
何も反応しない。	—	<p>→ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。(11 ページ)</p> <p>→ 背面のリセットスイッチを細い棒などで押してください。(8 ページ)</p>
起動しない	—	<p>→ メンテナンスマードでシステムの初期化を行ってください。(25 ページ)</p>
リモコンが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> 電池は入っていますか？ 	<p>→ 電池を交換してください。(ハンドブック「リモコンを準備する」)</p> <p>→ 電池が正しく入っていません。(ハンドブック「リモコンを準備する」)</p>
	—	<p>→ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。</p> <p>→ 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 保護シートが入っていませんか？ 	<p>→ 保護シートを引き抜いてください。(9 ページ)</p>

症状	チェック項目	対処方法
メモリーカードが取り出せなくなってしまった。	—	<p>miniSD メモリーカードや microSD メモリーカード、メモリースティックマイクロを誤って挿入した場合、ピンセットなどの先の細い道具をお使いいただくことで取り出せる場合があります。</p> <p>取り出す際には、道具で、本体やカードに傷がつかないように十分ご注意ください。無理に引き抜くと故障の原因になりますので、取り出せない場合は、ソニーの相談窓口へご相談ください。</p> 

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 不安定なところ
 - ほこりの多いところ
 - 極端に寒いところや暑いところ
 - 振動の多いところ
 - 湿気の多いところ
 - 直射日光の当たるところ

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。

この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機をお手入れする際は、乾いた柔らかい布をお使いください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどのは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

本機を廃棄するときのご注意

本機で [内蔵メモリーの初期化] を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。

本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

■ 本体

液晶画面

液晶パネル:

DPF-XR100/VR100: 10.2型、TFT駆動

DPF-XR80: 8型、TFT駆動

総ドット数:

DPF-XR100/VR100: 1,843,200 ドット

ト(1,024 × 3(RGB) × 600) ドット

DPF-XR80: 1,152,000 ドット

(800 × 3(RGB) × 480) ドット

有効表示画面

表示アスペクト比:

16:10

有効表示画面エリア:

DPF-XR100/VR100: 9.6型

DPF-XR80: 7.6型

総ドット数:

DPF-XR100/VR100: 1,692,900 ドット

ト(950 × 3(RGB) × 594) ドット

DPF-XR80: 1077,876 ドット

(758 × 3(RGB) × 474) ドット

液晶バックライト寿命

20,000時間

(バックライトの輝度が半減するまでの時間)

入出力端子

HDMI OUT 端子(DPF-XR100/XR80のみ)(A TYPEコネクター、1080i (60Hz) /1080i (50Hz)/640 × 480p (60Hz) 対応、BRAVIA リンク対応)

USB端子(mini-B type、Hi-Speed USB)

USB端子(A-type、Hi-Speed USB)
“メモリースティック PRO”(スタンダード
／デュオ)／SDメモリーカード/MMC/
xD-Picture Cardスロット

コンパクトフラッシュカードスロット
(DPF-XR100/XR80のみ)

再生可能なファイルフォーマット^{*1}

画像

フォーマット:

JPEG:

DCF 2.0準拠、Exif 2.3準拠、MPF

Baseline準拠、JFIF^{*2}

TIFF:

Exif 2.3準拠

BMP:

1、4、8、16、24、32ビットWindows
形式

RAW(簡易再生^{*3}):

SRF、SR2、ARW(2.2まで)

画素数:

最大 16,384 ドット × 12,288 ドット

動画^{*4 *5}

圧縮形式(コーデック):

MPEG-4 AVC/H.264:

拡張子: mp4、mts

プロファイル: Baseline Profile、
Main Profile、High Profile

レベル: 4以下

解像度: 最大 1920 × 1080

音声形式: Dolby Digital、AAC

MPEG-4 Visual:

拡張子: mp4

プロファイル: Simple Profile、

Advanced Simple Profile

レベル: 6以下(Simple Profile)、5以
下(Advanced Simple Profile)

解像度: 最大 1280 × 720(Simple
Profile)、最大 720 × 576
(Advanced Simple Profile)

音声形式: AAC-LC

MPEG-1 Video:

拡張子: mpg

解像度: 最大 640 × 480

音声形式: MPEG-1 Audio Layer 2

Motion JPEG:

拡張子: mov、avi

解像度: 最大 640 × 480

音声形式: リニアPCM、μ-law、IMA-
ADPCM

ビットレート:
最大 24Mbps

フレーム数:
最大 30p/60i

ファイルサイズ:
最大 2GB

再生時間:
最長 2 時間

バックグラウンド音楽⁴

圧縮形式(コーデック):

MP3:
拡張子:mp3

ビットレート:32 kbps～
320 kbps、可変ビットレート(VBR)
対応
サンプリング周波数:32 kHz、
44.1 kHz、48 kHz

AAC:
拡張子:m4a
ビットレート:32 kbps～320
kbps、可変ビットレート(VBR)対応
サンプリング周波数:8 kHz、
11.025 kHz、12 kHz、16 kHz、
22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、
44.1 kHz、48 kHz

リニアPCM:
拡張子:wav
サンプリング周波数:44.1 kHz、
48 kHz

ファイルシステム

FAT12/16/32、exFAT

画像ファイル名

半角英数字 255 文字 8 階層以下

* ファイル名に半角英数字以外の文字が使用
されている場合、ファイルが認識されない場
合があります。

最大画像ファイル数

内蔵メモリー／メモリーカード 1 枚につき
9,999 枚

内蔵メモリー容量⁶

2 GB

(保存ファイル数: 約 4,000 枚⁷)

電源

DC IN 端子入力、DC9V

消費電力

DPF-XR100:

(ACアダプター含む)

最大消費電力: 12.6 W、標準消費電力:

7.8 W

(本体のみ)

最大消費電力: 10.8 W

DPF-VR100:

(ACアダプター含む)

最大消費電力: 10.7 W、標準消費電力:

5.2 W

(本体のみ)

最大消費電力: 8.9 W

DPF-XR80:

(ACアダプター含む)

最大消費電力: 11.5 W、標準消費電力:

6.4 W

(本体のみ)

最大消費電力: 9.9 W

* 通常モードの定義は“出荷時設定にて内蔵メ
モリー内に保存したデータをスライド
ショーしている状態でメモリーカードを取
り付けていない状態”です。

動作温度

5°C～35°C

外形寸法

スタンドセット時:

DPF-XR100/VR100:

約 280 mm × 191 mm × 124.5 mm

DPF-XR80:

約 236 mm × 162 mm × 126 mm

壁掛け時:

DPF-XR100/VR100:

約 280 mm × 191 mm × 35 mm

DPF-XR80:

約 236 mm × 162 mm × 35 mm

質量

DPF-XR80: 約 700 g

DPF-XR100: 約 940 g

DPF-VR100: 約 800 g

(ACアダプター、壁掛けユニット含まず、ス
タンド含む)

同梱品

「同梱品を確認する」(6ページ)参照

■ AC アダプター

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz
0.5A

定格出力

DC 9V、1.4 A

外形寸法

約34 mm × 79 mm × 65 mm
(幅／高さ／奥行き)
(最大突起部のぞく)

質量

約110 g(本体のみ)

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき
製造されています。

*¹ データの種類によっては再生できないものがあります。

*² 4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースライン
JPEG

*³ ソニー α カメラの RAW ファイルサムネイルがそのまま表示されます。

*⁴ 著作権保護されたファイルは再生できません。

*⁵ データの種類、メモリーカードの転送速度によってはコマ落ちする場合があります。

*⁶ 容量は、1GB を 10 億バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどを含むため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約 1.6GB です。

*⁷ 保存枚数は、リサイズして画像取込を行った際の目安です。

リサイズして画像取り込みを行った場合、200
万画素相当に自動的にリサイズされます。

被写体および撮影条件によって異なります。

商標について

- S-Frame、BRAVIA、**BRAVIA プレミアム**フォト、Cyber-shot、**α**、、"Memory Stick"、"メモリースティック"、**MEMORY STICK**、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック Duo"、"メモリースティック デュオ"、**MEMORY STICK DUO**、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲートメモリースティック"、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、**MEMORY STICK PRO**、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティック PRO Duo"、"メモリースティック PRO Duo"、"メモリースティック PRO HG Duo"、"メモリースティック PRO-HG Duo"、**MEMORY STICK PRO-HG Duo**、"Memory Stick Micro"、"メモリースティックマイクロ"、**MEMORY STICK MICRO**、M2、"Memory Stick-ROM"、"メモリースティック-ROM"、**MEMORY STICK-ROM**、"MagicGate"、"マジックゲート"、**MAGIC GATE** は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- コンパクトフラッシュ (CompactFlash) は、米国サンディスク社の商標です。
- 、xD-Picture CardTM は、富士フィルム (株) の商標です。
- SD ロゴ、SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C、LLC の商標です。
- Monotype Imaging Inc. のフォントを搭載しています。iTypeTM は、Monotype Image Inc. の商標です。

- Dolby、ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

- 本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています:
 - (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual 規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG 4 VIDEO といいます)にエンコードすること。
 - (ii) MPEG-4 VIDEO(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。
- なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページ([HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM))をご参照ください。
- 本製品は、MPEG LA, LLC. がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE の下、次の用途に限りライセンスされています:
 - (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEO といいます)にエンコードすること。
 - (ii) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくは MPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC. のホームページをご参照ください。

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱の CD-ROM に記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、CD-ROM の
「License」フォルダにある
「NOTICE.html」をご覧ください。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License (以下「GPL」とします) または GNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様には、添付の GPL/LGPL の条件にしたがい、これらソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Web で提供しております。

ダウンロードする際には、以下の URL にアクセスし、モデル名「DPF-XR100/XR80/VR100」をお選びください。

URL:<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-XR100/XR80/VR100
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
 - ご使用コンピューターの機種名
 - メモリー容量
 - ハードディスクなどの容量

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。



警告



火災



感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電
により死亡や大けがの原因となります。

→ 2ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜き、接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



禁止

DCコードを傷つけない

DCコードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- DCコードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重い物をのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- DCコードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。



禁止

万一、DCコードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、壁掛けユニットの取り付けネジなどの本体小物部品、電池の保護シート、“メモリースティック”などのメモリーカードや、デュオサイズの“M2”アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

火災や感電の原因となることがあります。



禁止



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

DCコードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。



通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。

また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。

ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。

高電圧部品により感電することがあります。



機
構
部
品
を
さ
わ
ら
な
い

スタンドを持って本体を持ち上げない

スタンドがゆるんで落下し、故障や障害、又は怪我の原因になることがあります。

持ち運びの際は、落とさないよう本体をしっかりとお持ちください。





下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の
家財に損害を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。



禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

DCコードや接続ケーブルをACアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。



禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。



接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。

本機が落ちると、けがの原因となることがあります。



指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない



電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- ・ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ・ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。



電池は乳幼児の手の届かない所に置く



電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない



破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠ 注意

指定以外の電池を使わない



電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。



+とーの向きを正しく入れる

+とーを逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

機器
表示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す



電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない



リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

memo

memo

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる



デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
<http://www.sony.co.jp/DPF/>

メモリースティック対応表

使用可能な“メモリースティック”を確認できます。

<http://www.sony.jp/memorystick/compatible/>

電話で問い合わせる（おかげ間違いにご注意ください。）



よくあるお問い合わせ、解決方法などは、
ホームページをご活用ください。
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS一部のIP電話…0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

FAX（共通）0120-333-389 ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1



左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「403」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

■ 製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「製品登録のおすすめ」もしくはご登録WEBサイトをご覗ください。

<http://www.sony.co.jp/dpp-regi/>

オーバーシーズモデル、ワールドモデルにつきましては、製品登録の対象ではありません。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。